

特集

「統計は 次代を読み解く パートナー」

(平成26年度「統計の日」標語特選)

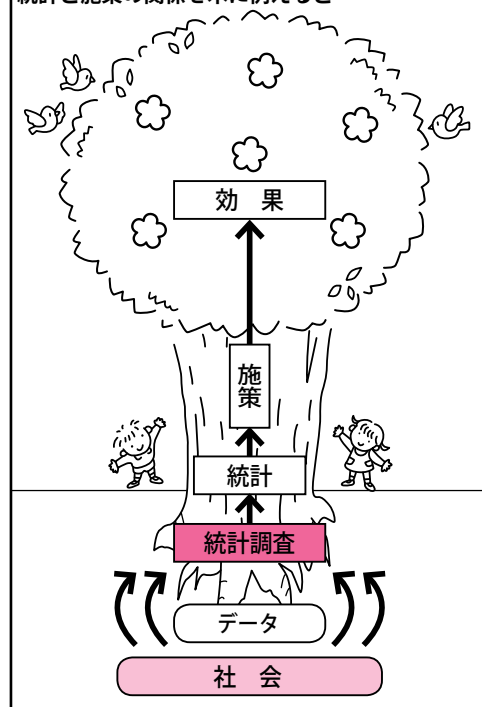


全国消費実態調査の調査票を調査員に渡す谷川さん(左)

問い合わせ

総務課 ☎72-8228

統計と施策の関係を木に例えると...



統計の役割

私たちの日常には、たくさんのデータがあふれています。そのデータが表しているものを読み解き、活用することで、私たちの暮らしをより良いものとすることができます。今回の特集では「統計調査」について考えてみます。

近年、産業構造や雇用形態、ライフスタイルの変化など、社会・経済の変化が急速に進んでいます。こうした中で、国や地方公共団体が適切に施策を企画・実行し、また、企業や住民が的確に意志決定を行うためには、社会・経済の実態を正確に把握することが必要となります。

統計と施策の関係

統計は、一定の条件で定められた集団について調べた結果を、集計・加工して得られた数値です。社会・経済の実態を正確に把握することが必要となります。

統計と施策の関係を木に例えると「統計調査」は根の部分で「社会」という大地からデータをもらい「統計」にまとめ、幹や枝という「施策」を伸ばし、「効果」として葉を茂らせ花を咲かせていると言えます。

統計調査は大きく2種類

国や地方公共団体が行う統計調査は「統計法」という法律に基づいて行われており、基幹統計調査と一般統計調査に分けることができます。

【基幹統計調査】

国が実施する統計調査のうち、特に重要なものとして総務大臣が指定した55の統計調査。国勢調査、経済センサス、工業統計調査などがあります。※平成27年2月現在。

【一般統計調査】

基幹統計調査以外の調査を指します。

さまざまな分野で活用

統計調査で得られた結果はさまざまな分野で活用されています。

- 地方交付税の算定資料
- 国や地方議会議員の選挙区および選挙区別定数の決定
- 都市計画・防災計画・社会保障制度の策定、農業・商工業の振興など、行政施策を立案する際の判断基準
- 大学などでの学術研究
- 民間企業の経営方針の決定など

私たちの暮らしを良くするために行われる主な調査

国勢調査(総務省)

人口・世帯の実態を明らかにすることを目的に、5年ごとに日本国内に住んでいる全ての人・世帯を対象として行う、国の最も重要な統計調査です。

国や地方自治体が行政施策を立案する際の基礎資料として用いられるほか、学術研究や経済活動など、幅広い分野で利用されます。



農林業センサス(農林水産省)

農林業の生産構造や就業構造、農山村地域における土地資源などの実態を明らかにすることを目的に5年ごとに行う調査です。

農林業施策の企画・推進・評価や、各種交付金の算定、農林業に関する白書作成のための基礎資料として活用されます。



経済センサス(総務省)

事業所および企業の産業や規模などの基本的構造を明らかにすることを目的とします。

国の経済政策や雇用政策などの基礎資料として用いられるほか、学術研究や民間企業の経営計画策定など、社会経済の発展を支える基礎資料として広く利用されます。



住宅・土地統計調査(総務省)

住宅の部屋数や広さ、敷地面積、居住する世帯の状況、保有する住宅・土地などの実態を把握することを目的に5年ごとに行う調査です。

住生活基本計画、土地利用計画などの諸施策の企画・立案・評価の基礎資料として活用されます。



全国消費実態調査(総務省)

家計の構造を「所得」「消費」「資産」の3つの側面から総合的に把握することを目的として、収入・支出および貯蓄・負債、耐久消費財、住宅・宅地などの家計資産を5年ごとに調査します。

介護・年金などの社会保障政策の検討などの基礎資料として用いられるほか、学術研究や民間企業などでも幅広く利用されています。

工業統計調査(経済産業省)

事業所数、従業者数、製造品出荷額、原材料使用額など、工業の実態を明らかにすることを目的として毎年行う調査です。

産業政策、中小企業政策など、行政施策のための基礎資料や、経済白書などの経済分析にも活用されます。また、企業の生産、販売、サービス計画などの企業活動にも利用されています。

インタビュー

データが有効に活用されることを願っています



工業統計調査協力事業所
株式会社岩手ヤクルト工場
代表取締役社長

有川 敏治さん

統計調査の結果がわれわれの企業活動に生かされることもあり、今一番注目しているのは人の問題です。有効求人倍率が上がってくると社員募集をしても定員に満たないなど、社員の採用が難しくなることが考えられるので、県や市の状況を把握しながら採用活動をする必要があります。

提供したデータが有効に活用され、私たちの生活や企業活動がより良くなることを願い、正確なデータを提供し国や地方自治体の調査に全面的に協力しています。

無駄な物を買わなくなりました



全国消費実態調査協力世帯
谷川 美代子さん
(村崎野)

3カ月間、家計簿をつける調査に協力しました。毎日細かく収支を記入する内容だったので、忘れないように買い物から帰ったらすぐ記入するように心掛けました。

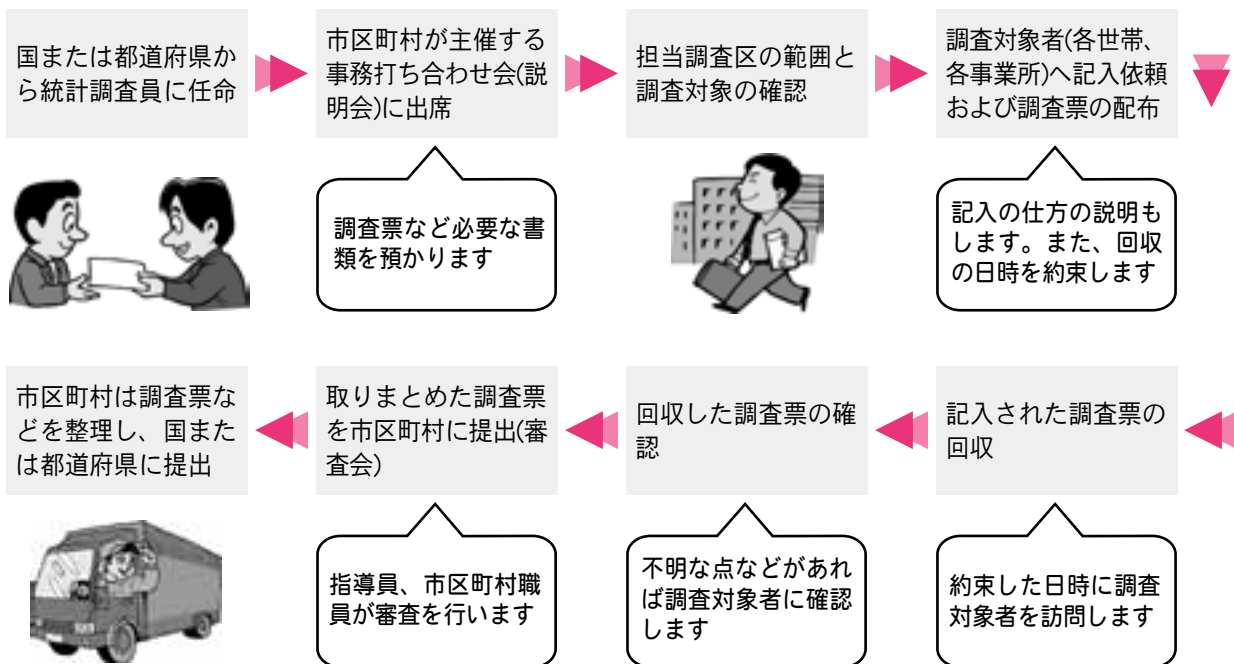
家計簿を記入することで、無駄な物を買っていたことに気づき、余分なものは買わないようになったのでいい勉強になりました。調査終了後も

引き続き細かく家計簿をつけています。

調査の結果は社会保障制度の基礎資料になるそうなので、わが家のデータが少しは社会のために役立つかなと思います。

統計調査、統計調査員の主な仕事の流れ

では実際の統計調査はどのように行われているのでしょうか。
統計調査には欠かせない統計調査員を紹介します



各種統計調査を円滑に実施するために、市民で組織された団体です。現在265人の会員で構成されています。各種統計調査への従事のほか、調査技能向上のために研修会を実施したり、統計思想の普及を目的として市と共催で統計グラフコンクールを開催するなどの活動を行っています。

北上市統計調査員協議会

また、統計調査員には、調査で知った事柄を他の人に漏らしてはならないという守秘義務が課せられています。

統計調査員は、統計調査ごとに国や県が任命する非常勤の公務員です。調査対象となった世帯や企業を訪問し、調査票の記入依頼や調査票の回収・点検といった、統計調査の中でも基本的な重要な部分を担います。このため、一人一人の取り組みが統計の信頼性や正確性を左右し、結果を利用して実施される施策の方向性にも影響を与えることになるので、統計調査員の役割は非常に重要です。

統計調査員

インタビュー Interview

回答していただいた調査票は厳重に保管しています



統計調査員

高橋 英正さん
(和賀町横川目)

調査員歴 44年11カ月

調査をする上で最も気を付けていることは、調査内容を漏らさないようにすることです。家の中でも統計調査に関する書類は全て一室に置き、家族にも絶対に見せないようにしています。

今まで統計調査員の仕事をしてきましたが、皆さん協力的だったので大変だと感じたことはありませんでした。また、良かったことは人との交流があり、地域を知ることができたことです。

統計調査で得た情報は、統計以外には絶対に使わないので、調査への協力をお願いします。

常に会員の資質向上を図れる協議会を目指します



北上市統計調査員協議会長

平野 正さん
(有田町)

調査員歴 48年1カ月

北上市統計調査員協議会は、会員同士の横のつながりを持つこと、資質向上・統計思想の普及を図ることを最大の目的として昭和34年に設立されました。資質向上のため研修会を開催したり、県が主催する統計大会に参加しています。

今後の課題は調査員の後継者育成、協議会への加入促進です。また、研修会などへの参加率を今より上げ、常に資質向上を図っていける協議会でありたいです。

統計調査の際は調査員も精いっぱい内容を説明するので、分からないところは聞いていただき、調査票へもれなく記入をお願いします。

統計思想の普及のため、統計調査以外に行われている関連事業を紹介します



さまざまな活動で統計を普及

日本で最初の近代的生産統計「府県物産表」に関する太政官布告が公布された新暦の明治3年10月18日を「統計の日」としています。統計の重要性に対する関心と理解を深め、統計調査に対してより一層のご協力をいただくため定められました。国や地方公共団体では「統計の日」ポスターを作成するなどの広報活動を行うほか、講演会・展示会の開催などの諸行事を実施しています。



統計グラフコンクール

北上市統計グラフコンクールは統計を理解し親しんでいただくこと、統計を表現する技術を高めることを目的に毎年開催しています。作品は小学生3部門、中学生、高校生以上の生徒・学生および一般、パソコン統計グラフの6部門で募集をしています。

インタビュー Interview

作品が入賞したときの喜びは大きいです



第58回岩手県統計グラフコンクール 第5部(高校生以上の生徒・一般)特選

筒井 尚七さん
(二子町)

統計グラフコンクールへ作品を応募するようになったきっかけは、統計調査員協議会の役員の方から応募を勧められたからです。

作製で大変なことは、テーマを決めそのテーマの中身によってグラフの種類も決めないといけないところです。見た人たちが分かりやすい表現になるよう心掛けています。いろいろと

苦労しながら作製した作品が入賞すると、その喜びは大変大きいです。

皆さんも統計グラフに対して難しく考えず、遠慮しないでどんどんコンクールに参加してもらいたいです。



第58回岩手県統計グラフコンクール第5部特選となった作品。平成19年度から応募を始め、県や全国のコンクールでも数多く入賞しています



統計調査には正確な回答をお願いします

正確な調査結果を得るためには、正確に報告してもらうことが必要となります。もし、報告が得られなかったり、不正確・不完全な報告だったりすると、精度の低い統計となってしまう恐れがあり、また、誤った方向に施策が実施されてしまうことにもつながります。

統計法では、基幹統計調査の報告(回答)を求められた人には、正確な報告をする義務が定められています。また、厳格な個人情報保護の措置が講じられており、調査内容を統計以外の目的に使用することとは強く禁じられています。調査結果が税金の徴収や勧誘などに使われるようなことは一切ありませんので、統計調査にはありのままを正確に回答してください。



「かたり調査」に注意ください

統計調査員を装って世帯を訪問して記入した調査票をだまし取ったり、世帯構成などを電話で聞き出す不正行為をする「かたり調査」が全国で発

生しています。

調査員は顔写真入りの「調査員証」を常に携帯しています。怪しいと思ったら訪問や電話には即答せずに、総務課(☎72-8228)までお問い合わせください。



統計調査員を募集しています

統計調査員として、統計に関して理解と熱意を持って国が実施する統計調査の業務に従事してくださる人を広く募集しています。調査期間中は県知事などが任命する非常勤の公務員となり、報酬が支払われます。

統計調査員は、社会をより良い方向へ導く基礎となる各種データを取りまとめる重要な役割を担っています。

関心のある人は同課統計係(☎72-8228)までお問い合わせください。

10月1日 平成27年国勢調査

国内に住む全ての人と世帯が対象となる大変重要な調査です。

皆様のご理解とご協力をお願いします。